



食いしん坊は誰だ ～餌で釣る干潟の生物 (印刷用)

概要

殻を割った二枚貝を干潟に置くと、ヤドカリやカニなど、弱った生きものを餌にする生物が集まってきます。餌の存在をどのように知り集まってくるのか、それぞれの生きものがどのように食べるのかなどを観察します。最後に、自分が食べられる経験もしてみましょう。

学べること

- 干潟の生物のはたらきの多様性に気づきます。
- 弱った生物を食べる多様な生きものの存在により、干潟には死骸などが少なく、きれいな環境が保たれていることを知ります。
- 食物連鎖は、「大きなもの/強いもの」が「小さなもの」を食べる連鎖だけではないことを学びます。
- 「食べる」という行動の観察を通して、生きものの特徴や生態を観察する力を養います。

準備するもの

- ◆スコップ…先が尖った小型のものの方が深くささります。
 - ◆ザル…目の感覚が2～3mm くらいのもので使いやすいです。料理用でOK。
 - ◆バット…幅が30cm くらいの浅い入れ物。色は白いもののほうが生きものを見やすいです。
 - ◆ピンセット、または先の細い箸など…小さい生物をつまみます。
 - ◆軍手…危険物や危険な生きものを触るときに使います。
- *服装：海岸は日陰等も少なく、砂や海面からの照り返しの強い場所でもあります。また夏でも風が強いと体温が奪われます。季節に関わらず帽子や長袖の上着を用意するように参加者に伝えましょう。靴もサンダルではなく、足全体をカバーできる「濡れてもよいスニーカー」などがよいでしょう。

事前の準備

- *「地底生物を洗い出せ」に準じて行ってください。

実施の仕方

1. 餌にする二枚貝を砂のなかから採取します。
- *実施方法は、教材「地底生物を洗い出せ」をご参照ください。



◎実施場所：海岸（干潟）
◎所要時間：10～20分



*注！
実施の前に「安全管理について」をご一読ください。「海ならではの危険」についてもまとめています。
<https://lab2c.net/instruction/safety>





2. 殻を割った二枚貝を干潟の上に置いて、じっと観察します。

二枚貝の殻を、石などを使って軽く割ります。それを水の残る干潟の表面に置いて、どんな生きものが寄ってくるか、しばらくじっと観察をしてみましょう。寄ってくる生物が餌をどのように探しているのか、その動きなどをしっかりと観察するようにしましょう。例：「二枚貝には申し訳ないですが、殻を割って餌になってもらいます。これを干潟の上に置くと、だんだん生きものが寄ってきます。どんな生きものが寄ってくるか、どんな風にして寄ってくるかしばらくじっと見てみましょう」

3. 場所を変えて、同じ観察を行います。

沖合の砂地、岸近くのヨシ原に近い場所など、違った環境で実施すると、場所により異なる生きものが寄ってくる場合があります。ガイ、ヤドカリの多い場所の他、スゴカイイソメやマメコブシガニなどを見つけたら、参加者を集めて実施してみると興味深い観察ができます。

4. 干潟に自分の手を置いて「食べられる」経験をしてみます。

アラムシロガイがいる場所で、干潟の表面にそっと手の平を置いてじっとしていると、寄ってきて手を食べようとします。チクチクする、食べられる感覚を体験してみましょう。

5. 気づいたことを共有します。

生きものの観察で、「発見したこと」「感じたこと」を発言してもらいましょう。

「地底生物を洗い出せ」など他の活動と一っしょに実施した場合は、活動の最後にまとめて感想を共有してもいいでしょう。話し合う前にワークシート『●●干潟でびっくり！発見！！』に各自記入し、考えをまとめてからシェアする方法もあります。

6. 活動のまとめ

活動の最後には、次のようなことを伝えて、まとめをします。

- 例：・干潟にはさまざまな生きものが生息しています。
- ・なかには弱った生きものを餌にする生物もいます。
 - ・それらの存在により、干潟は生きものがたくさんいても死骸や食べ残しなどの腐敗物で汚れることなく、きれいな環境が保たれています。
 - ・自然の生きもののつながりのなかには、「ゴミ」はなく、何かは何かの餌になり、役に立って存在しています。

*観察が終わった生きものは、できるだけ最初に採取した場所に戻します。

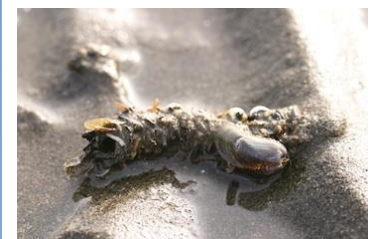
◆ポイント！ 干潟の掃除屋さん



・アラムシロガイ
長い水管を振り回し匂いを感知して餌を見つけます。巻貝ですが動きは素早く干潟の表面をすべるように動き、数分で餌を覆いつくすことも少なくありません。



・ユビナガホンヤドカリ
藻類も食べますが、貝などの肉も食べます。潮溜まりや水路のなかで動き回る姿がよく見られます。干潟の掃除屋さんの主力メンバーです。



・スゴカイイソメ
貝殻や海藻が絡まった身近い紐のようなもの前に、割った貝を置いてじっとしていると…。なかからゴカイの仲間の「スゴカイイソメ」が頭を出して貝を食べるところを観察できるかもしれません。

